

# 令和3年度希望研修講座一覧 (令和3年3月1日現在)

・受講申込みは、希望研修講座以外の研修講座と同時に、学校を通して行います。【受講者名簿回答期間：令和3年4月1日（木）～4月9日（金）】

・日程や内容等の詳細については、事業概要をご覧ください。

No. 1

講座番号	研修講座	実施日	講座概要・講義等（講義名・講師）	対象・定員
70	「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学授業力向上研修講座	7月29日（木）	「データ」を活用・分析した授業づくりの視点について理解するとともに、授業力の向上を図る講座です。「データ」を使った小・中・高等学校の実践を紹介しながら、これからの授業づくりについて皆で考えていきましょう。	小中高特 90人
			講義 「『データ』を活用・分析する力を育む授業改善」 茨城大学 教授 小口 祐一	
71	夏の理科観察・実験（中学校・高等学校）研修講座	7月26日（月）	観察、実験を通して、理科教育に関する認識を深め、授業力の向上を図ります。	中高特 32人
			観察・実験・研究協議 エネルギー領域、粒子領域、生命領域、地球領域における科学的に探究するための観察・実験の工夫	
72	未来を創るSTEAM教育研修講座	第1日 10月13日（水） 第2日 11月11日（木）	科学、技術、工学、アート、数学の5つの領域を対象に、探究と創造のサイクルを生み出す分野横断的な学びの実践的な指導力の向上を図ります。	小中高特、管理職、指導主事 80人
			講義 「新しい学びを創造するSTEAM教育」 早稲田大学 教授 森田 裕介	
			講義・演習 「STEAM教育におけるアート」 武蔵野美術大学 教授 三澤 一実	
			講義・演習 「プログラミング的思考を活用したSTEAM教育」 茨城大学 准教授 小林 祐紀	
73	授業がもっと楽しくなる！音楽科基礎研修講座	A班 7月26日（月）	小学校及び特別支援学校の音楽教育に関する理解を深めていくことを目的とします。	小特（音楽免許状のない者） A班 30人 B班 30人
		B班 8月3日（火）	ICTの活用及び鑑賞を中心に講義、実践発表、実技を行い、児童が楽しみながら表現する力を伸ばす授業づくりについて考えます。 講義・実技 「鑑賞の授業の工夫改善」 日本女子大学 非常勤講師 高倉 弘光	
74	我が国の伝統音楽研修講座	第1日 8月5日（木） 第2日 8月19日（木）	和楽器についての知識や技能を深め、授業実践に生かしていくことを目的とします。	小中高特 30人
			和楽器については、箏・三味線・和太鼓のいずれか一つを選び、実技を通して基本的な奏法や和楽器のメンテナンスを習得するとともに、生演奏による鑑賞を行います。	
			実技 「箏の奏法」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 池田 和花奈 「三味線の奏法」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 飯田 郁子 「和太鼓の奏法」 来舞・デュオ 過足 雅之、照沼 啓子	
			鑑賞・実技 「和楽器を用いた表現」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 池田 和花奈、飯田 郁子 来舞・デュオ 過足 雅之、照沼 啓子	
75	これからの図画工作・美術科研修講座	第1日（共通） 8月3日（火） 第2日 Aコース 8月6日（金） Bコース 8月18日（水）	新学習指導要領の趣旨を踏まえた図画工作・美術科の学習指導について理解を深め、授業改善を図る講座です。第1日目は、茨城県近代美術館で鑑賞の演習を行います。第2日目は、作品づくりの演習をとおして、表現と鑑賞を関連させた授業づくりについて考えます。	Aコース 小特 25人 Bコース 中高特 25人
			講義 「学習指導要領改訂における図画工作・美術科の授業改善の視点」 文部科学省視学官 東良 雅人	
76	ヒントが見つかり授業が変わる体育・保健体育科研修講座	10月8日（金）	新学習指導要領の趣旨を踏まえた体育・保健体育科の学習指導について理解を深め、講義・実技・演習を通して授業改善を図る講座です。	小中特（体育・保健体育科の免許状を有する者） 30人
			講義 「体育・保健体育科で育成したい資質・能力と学習指導の在り方」 日本体育大学 教授 白旗 和也	
77	できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座	8月5日（木）	学習指導要領の趣旨を踏まえ、家庭科教育について理解するとともに、実践的・体験的な学習活動に関する研修を行い、授業力の向上を図ります。午後は各部会に分かれ、小・中・特部会は、ICTを活用した授業づくりの演習を、高・特部会は製作実習における段階標本の製作を行います。	小中特 30人 高特 15人
			講義 「家庭科で育成したい資質・能力と学習指導」 茨城大学 教授 木村 美智子	
78	みんなで創ろう「Technology」の授業研修講座	8月17日（火）	学習指導要領の趣旨を踏まえ、技術・家庭科〔技術〕教育について理解するとともに、実践的・体験的な学習活動に関する研修を行い、授業力の向上を図ります。午後は、実際の教材に触れることを通して、どのように授業に生かすことができるかについて演習を行います。	中 25人
			講義 「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 文部科学省視学官 上野 耕史	
79	体験と参画を通して小学校外国語の授業スキルを身に付ける研修講座	第1日 7月26日（月） 第2日 7月27日（火）	小学校の外国語活動・外国語科について、体験活動と参画活動のある実践的な研修を行い、授業スキルを身に付けることで、授業力の向上を図る講座です。	小特（小学部） 90人
			講義・演習 第1日「学習指導要領を踏まえた小学校の授業づくり」 文部科学省視学官 直山 木綿子	
80	知識や技能を「活用」する力を高める指導力向上研修講座	第1日 6月7日（月） 第2日 8月18日（水） 第3日 2月4日（金） 国語は14日（月）	思考力・判断力・表現力を高めるための講義・演習・研究協議を通して、知識や技能を「活用」する授業づくりと評価問題の作成をはじめとする実践的な指導力の向上を図る講座です。	小中高特（外国語（英語）は中のみ） 200人
			講義 第1日「Society5.0時代を見据えた学校教育の在り方」 国立大学法人東京大学、慶應義塾大学 教授 鈴木 寛	
			講義・演習 第2日「評価問題の改善が授業を変える」（5分科会） 第3日「知識や技能を『活用』する力を高めるための評価問題と学習指導の実際」（5分科会） 文科省関係講師、大学教授	

講座番号	研修講座	実施日	講座概要・講義等（講義名・講師）	対象・定員
81	明日から使える！高等学校授業改善〔基礎〕研修講座	8月6日（金） （オンライン）	新学習指導要領の実施に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善についての基本的な考え方や具体的な方法等について考える講座です。授業改善について、基本から学んでみたい方やすぐに実践に取り組んでみたい方に適しています。 講義 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の基本的な考え方」 株式会社A L & A L 研究所 代表取締役 授業改善アドバイザー 小林 昭文	高特 100人
82	思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座	第1日 6月29日（火） （オンライン） 第2日 8月24日（火） 第3日 10月25日（月）	新学習指導要領の実施を見据えた学習指導に関する実践発表、思考力・判断力・表現力を高めるための講義・演習・研究協議を通して、評価問題の作成をはじめとする実践的な指導力の向上を図る講座です。 講義 第1日「Society5.0時代を見据えた高等学校教育の在り方」 国立大学法人東京大学、慶應義塾大学 教授 鈴木 寛 第2、3日「思考力・判断力・表現力を高める指導の実際」（8分科会） 大学教授 8人	高特 180人
83	持続可能な社会を創る！SDGs研修講座	第1日 8月2日（月） 第2日 11月19日（金） （第2日オンライン）	新学習指導要領を踏まえたSDGs達成に向けた取組についての講義や実践発表、演習・研究協議を通して、持続可能な社会の創り手となる人材を育成するために必要な資質と指導力の向上を図る講座です。 講義 第1日「SDGs達成に向けたグローバルな視点からの取組」 JICA筑波職員 1人 講義・演習 第2日「学校と地域が連携したSDGs達成に向けた教育の在り方」 桐蔭横浜大学 専任講師 松井 晋作	小中高特 60人
84	体験する夏の環境教育研修講座	8月20日（金）	水質や水生生物の調査などについて学ぶ体験学習を通して、環境教育の推進と指導力の向上を図る講座です。フィールドワークを通して環境教育を学びたい方に適しています。 実習 「河川観察等を通じた体験型環境教育」 茨城県霞ヶ浦環境科学センター職員	小中高特 24人
85	学校図書館を活用した授業づくり研修講座	8月19日（木）	学校図書館を活用した教育活動に関する実践的な内容・方法等について理解を深め、授業力の向上を図る講座です。 講義 「主体的・対話的で深い学びを創造する学校図書館」 放送大学 客員教授 堀川 照代	小中高特 80人
86	道徳教育研修講座	8月23日（月） （オンライン）	道徳の授業の工夫・改善に係る理論と実践について、実践発表や講義を通して研修し、授業力の向上を目指します。 講義 「特別の教科 道徳」の指導 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 浅見 哲也	小中高特 200人
87	特別活動研修講座	8月6日（金） （オンライン）	みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動について、講義からその目指すところと教育的意義を理解することを目的とします。また、具体的な特別活動の進め方について研究協議を行います。 講義 「一人一人が育ち、集団が育つ特別活動」 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 安部 恭子	小中高特 200人
88	学校組織マネジメント（基礎）研修講座	8月17日（火）	学校経営の中核を担う教職員に求められる学校組織マネジメントの進め方や、学校教育目標の達成のための効果的な経営戦略を、講義・演習を通して考えます。演習では、SWOT分析による実行策の創出と検討を行います。 講義・演習 「学校組織マネジメント」 国立大学法人兵庫教育大学大学院 教授 浅野 良一	小中高特 80人
89	学校組織マネジメント（発展）研修講座	8月18日（水）	学校経営の中核を担う教職員に求められる学校組織マネジメントの進め方や、学校教育目標の達成のための効果的な経営戦略を、講義・演習を通して考えます。演習では、戦略マップを作成し、ビジョンや目標達成までの道筋を明確にします。 講義・演習 「学校組織マネジメント」 国立大学法人兵庫教育大学大学院 教授 浅野 良一	小中高特 40人
90	不登校対応研修講座	8月2日（月）	講義及び実践発表を通して、不登校児童生徒への関わり方や具体的な支援の在り方を理解します。また、研究協議を通して、今後の不登校児童生徒の支援について考えます。 講座日数が1日となりました。また、事前アンケートを廃止しました。 講義 「不登校児童生徒の理解と支援」 国立大学法人東京学芸大学 教授 小林 正幸	小中高特 72人
91	思春期の子どもと保護者に寄り添う教師のためのソーシャルスキル研修講座	8月23日（月）	思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について、研究者による講義・演習を通して理解を深めます。また、様々な問題に適切に対応するために、教師が児童生徒や保護者と信頼関係を構築するためのソーシャルスキルについて、講義・演習を通して身に付けます。 講義・演習 「思春期の子どもと向き合う」 中央大学 客員研究員 高橋 聡美	小中高特 72人
92	教育相談（初級）研修講座	第1日 8月4日（水） （オンライン） 第2日 10月27日（水）	大学教授の講義・演習を通して、カウンセリングにおける理論と実践を学びます。また、実際の個別面接を想定したロールプレイを行い、話を聴くための基本的な態度や技法の習得を目指します。 第1日は、オンラインによる研修となりました。 講義・演習 第1日「カウンセリングの理論と実践」 国立大学法人茨城大学大学院 教授 生越 達	小中高特 72人
93	教育相談（中級）研修講座	第1日 8月19日（木） 第2日 1月18日（火）	初級で学んだ基本的な面接技法に加え、新たな技法を学ぶとともに、実際の個別面接の様子を逐語記録にまとめ、研究協議を行うことで、実践力を高めることを目指します。また、講義を通して児童生徒を支援するためのアセスメントの必要性を学び、そのポイントを学んでいきます。 講義・演習 第2日「教育相談におけるアセスメント」 国立大学法人広島大学大学院 講師 山崎 茜	小中高特 48人
94	教育相談（上級）研修講座	第1日 6月24日（木） 第2日 10月14日（木） 第3日 1月13日（木）	大学教授から、教員だからこそできる児童生徒や保護者との関わり方について講義を受けて、幅広い知識の習得を目指します。そして、中級までに学んだ技法に加え、より実践的な技法について、ロールプレイや逐語記録検討を通して体験的に理解を深めます。 講義・演習 第1日「学校教育相談の理論と方法」 国立大学法人茨城大学大学院 准教授 丸山 広人 第2日「教育相談の応用」 国立大学法人茨城大学大学院 教授 三輪 壽二	小中高特 36人

講座番号	研修講座	実施日	講座概要・講義等（講義名・講師）	対象・定員
95	問題行動等を未然防止！育てる教育相談研修講座	8月20日（金）	児童生徒の自己指導能力を育成するために、育てる教育相談の意義や進め方を理解し、学校生活の様々な場面で児童生徒を指導・援助することができる資質・能力を高めていきます。事前動画視聴があります。申し込み時に、Aコース「構成的グループエンカウンター」、Bコース「クラス会議」のどちらかを選択してください。 講義・演習 「授業に生かす教育相談」 立教大学 教授 大石 幸二	小中高特 72人
96	特別支援学級・通級指導教室担当者指導力向上研修講座	第1日 8月23日（月） 第2日 11月24日（水）	特別支援学級・通級指導教室担当2年目からの教職員を対象に、特別支援教育のミドルリーダーとしての専門性を身に付けることを目的とした講座です。講義や演習を通して指導に必要な専門的な知識や指導方法について指導力の向上を図ります。 講義・演習 第1日「特別支援学級・通級指導教室の担当者の専門性」 国立特別支援教育総合研究所主任研究員 涌井 恵	小中 60人
97	自立活動指導力向上研修講座	A班 8月3日（火） B班 8月6日（金）	障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するための「自立活動の指導の在り方」について研修します。各校種の協力者による実践発表、「自立活動の指導内容設定のためのプロセスシート」の作成の演習を通して、児童生徒の実態把握をどのように指導内容に結び付けていくかについて考えます。 講義・演習 「学びを支える自立活動の指導の在り方」 A班 江東区立豊洲北小学校 統括校長 喜多 好一 B班 国立特別支援教育総合研究所主任研究員 若林 上総	A班 小特 60人 B班 中高特 60人
98	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座	12月8日（水）	発達的な課題に起因する読み書き困難のある児童生徒の認知的な背景要因や、背景要因に応じた具体的な指導方法について研修します。演習では、ひらがな、漢字、アルファベットの分科会に分かれ、それぞれの読み書き困難について指導力の向上を図ります。 講義 「読み書き困難のある児童生徒への指導」 NPO法人エッジ 会長 藤堂 栄子	小中特 90人
99	応用行動分析に基づいた問題行動への新しいアプローチの仕方研修講座	8月20日（金） （オンライン）	応用行動分析学（ABA）の観点から、問題行動のある子どもに対するアプローチの仕方について学びます。客観的に行動を観察し分析することによって、よい行動を引き出すための支援の仕方に関して、講義、実践発表、演習を通して、指導力の向上を図ります。 講義・演習 「応用行動分析学とは」 星槎大学大学院 教授 三田地 真実	小中高特 90人
100	特別支援教育専門研修講座	第1日 11月25日（木） 第2日 1月25日（火）	特別支援教育の専門性を高めることを目的とし、地域の特別支援教育のリーダー養成を目指す講座です。2日間に分けて実施し、第1日目はWISC-IVの実施と解釈に関する研修、第2日目は特別支援教育に関する最新の動向についての講義や、アセスメント力を高めるための事例検討を中心とした演習を行い、指導力の向上を図ります。 講義・演習 第1日「WISC-IVの実施と解釈」 日本臨床発達心理士会 茨城支部長 大六 一志 第2日「今後の特別支援教育の方向性と課題」 青山学院大学 教授 古荘 純一	小中高特 60人
101	ICTを活用した授業力向上研修講座	A班 7月28日（水） B班 8月20日（金）	単に授業でICTを活用すれば、教育効果が期待できるというものではありません。ICT活用の場面やタイミング、活用上の創意工夫など、教師の授業技術が教育効果に大きな影響を与えます。GIGAスクール構想の実現により、児童生徒が一人1台端末を活用する授業展開が必要な今、ICTを活用した授業を展開することに不安を抱える先生方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで、本講座では、先生方にとっては教具として、また、児童生徒にとっては文房具として、授業支援ソフトウェアの活用を中心としたタブレット端末での授業展開の方法を基礎からしっかり学んでいきます。ICTに不慣れな先生方も参加いただける、明日からの授業でのICT活用に役立つ内容となっています。	小中高特 A班 35人 B班 35人
102	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座	8月24日（火）	社会や学校の情報化の進展に伴う新たな教育課題に対応するため、教育の情報化に関する基礎的な知識と技術の習得を図ることを目的としています。今年度の課題は、「反転授業により主体的・対話的で深い学びの授業をどう展開していくか」です。昨今、児童生徒には一人1台のタブレット端末が用意され、家庭と学校での学びをシームレスにつなぐことができるようになってきました。そのような中で、家庭での学習をベースにした授業展開、いわゆる反転授業が注目されるようになりました。本講座では、その反転授業の意義を見いだすとともに、その実現に必要なオンライン教材の作成や活用方法について学んでいきます。 講義 「主体的・対話的で深い学びと反転授業」 学校法人桐蔭学園 理事長 溝上 慎一	小中高特 35人
103	学校教育の情報化推進リーダー養成研修講座	第1日 8月5日（木） 第2日 8月19日（木）	教育の情報化に関する基礎的な知識と技術を習得し、学校における教育の情報化を推進するリーダーとしての資質・能力の向上を図ることを目的としています。2日間の研修で、学校教育の情報化を推進するリーダーとしての役割や教育の情報化の現状と課題、情報活用能力の育成と教科指導におけるICT活用、校務の情報化、ICT環境整備等、教育の情報化を推進するために必要な幅広い内容について、講義・実践発表・研究協議・演習を通して理解を深め、実践的な知識と技術の習得を目指します。 講義 第1日「情報活用能力の育成と教科指導におけるICT活用」 国立大学法人茨城大学 准教授 小林 祐紀 第2日「学校教育の情報化推進のためのICT環境整備」 文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室長 水間 玲	小中高特 30人
104	小学校段階におけるプログラミング教育研修講座	A班 7月30日（金） B班 8月2日（月） C班 8月3日（火）	令和2年度から、小学校段階におけるプログラミング教育が全面実施となりました。本講座では、教育の情報化と小学校段階におけるプログラミング教育についての講義、プログラミング教材を実際に使ったプログラミングの演習や実践発表、これまでに実践したプログラミング教育について受講者同士で情報交換を行う研究協議を行います。これらの活動を通して、プログラミング的思考を身に付けるための学習活動についての理解を深めるとともに、プログラミング教育の知識と技術を習得し、指導力の向上を図ることを目的としています。	小特 A班 35人 B班 35人 C班 35人